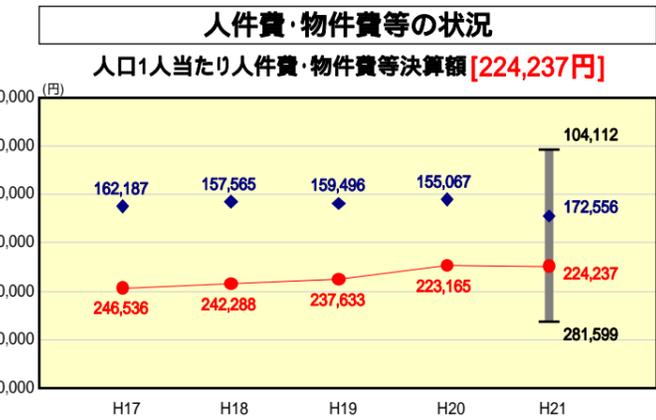
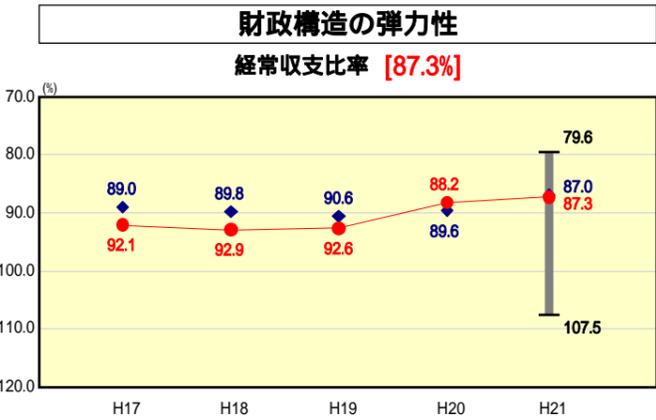
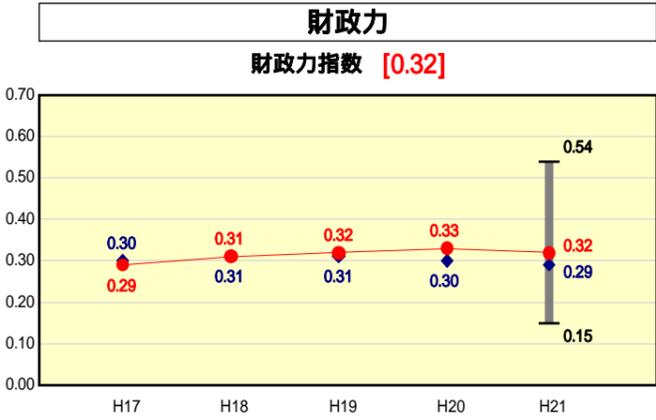


# 市町村財政比較分析表(平成21年度普通会計決算)

● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
T 類似団体内の最大値及び最小値

人口	10,327	人(H22.3.31現在)
面積	402.18	km <sup>2</sup>
標準財政規模	4,871,222	千円
歳入総額	7,680,044	千円
歳出総額	7,580,018	千円
実質収支	85,310	千円

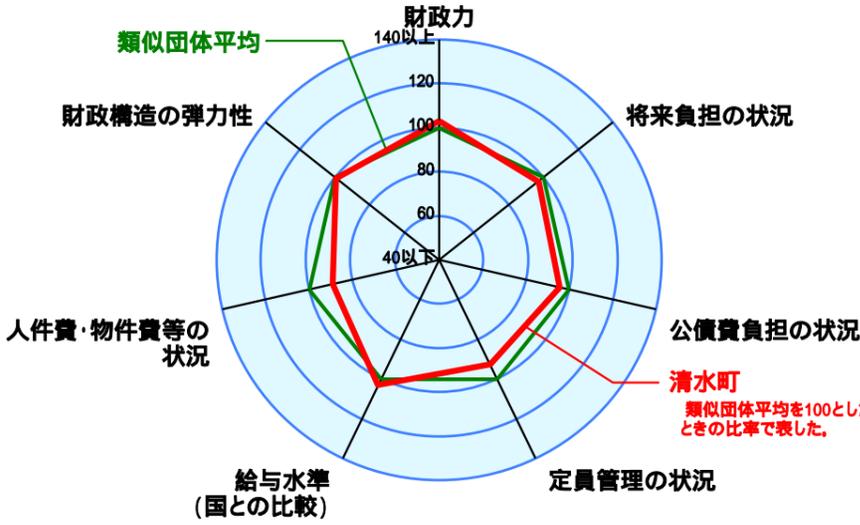


人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

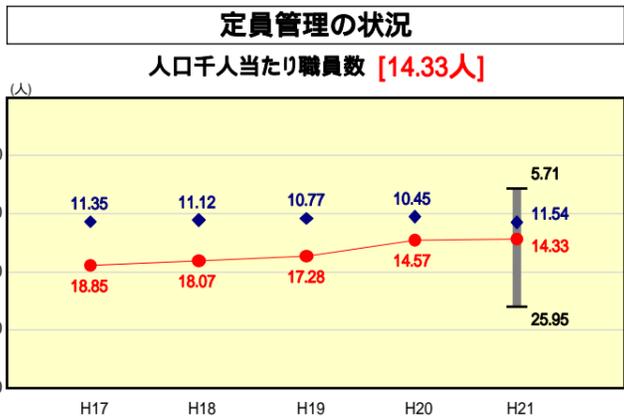
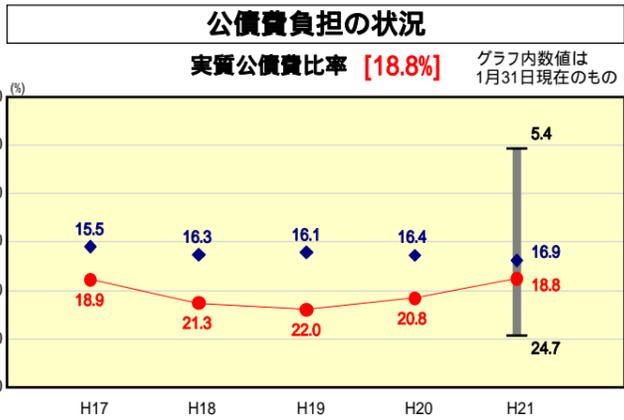
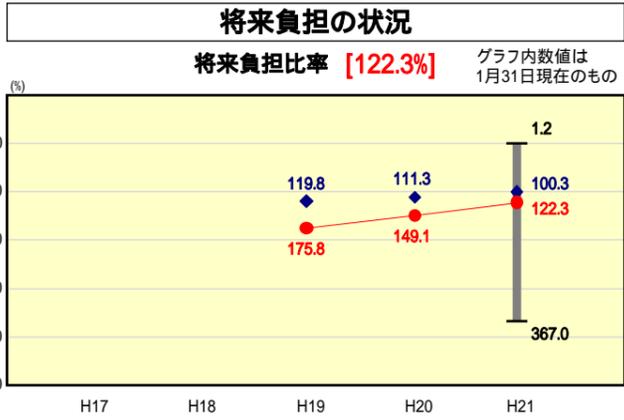
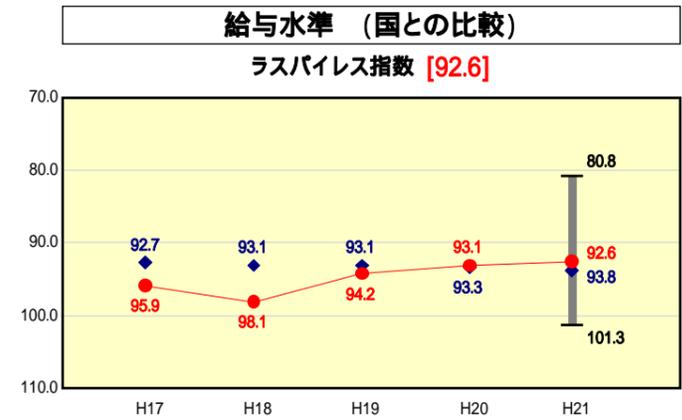
## 分析欄

**財政力指数:**  
平成14年度以降公債費の減少等に伴い基準財政需要額が減少した結果、財政力指数は上昇傾向にあったが、長引く景気低迷による町税等の収入減少により、平成21年度決算では前年度対比0.01ポイント減の0.32となった。自主財源の大幅な増収は困難であるが、町税滞納処分を強化し収納率の向上に努める。

**経常収支比率:**  
平成19年度から平成21年度にかけて実施した公的資金補償金免除繰上償還及び町債の新規発行抑制による公債費の減少と清水町行政健全化実行プランに基づく平成17年度からの職員給与削減、事務事業の見直しにより、経常経費は減少傾向にあり、今後も事務事業の有効性・緊急性を検証し、効率的な行政運営を図っていく。



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。



**人口1人当たり人件費・物件費等決算額:**  
保育所・給食センター・公園・牧場等の施設運営を直営で行っており、これに関わる人件費及び物件費(賃金)が要因となって類似団体平均値を上回っている。民間で実施可能な部分については指定管理者制度の導入などにより委託化を進め、コスト低減を図っていく。

**ラスバイレス指数:**  
給与の独自削減等により、類似団体平均値を1.2ポイント下回っており、引き続き給与の適正化に努める。

**人口千人当たり職員数:**  
過去の積極的な施策展開による職員採用と保育所・牧場などの施設運営を直営で行っていることにより、類似団体平均値を上回っている。アイスブレイクの指定管理者制度導入や退職職員の一部不補充などにより年々改善してきており、適正な職員配置のもと行政のスリム化を図っていく。